



平成23年2月28日

『どさんCo2（こ）クレジット・ポートの設立について』
～北海道内のクレジットを牽引する機能の設立～

地球温暖化対策の取り組みを推進するため、国内クレジット制度を活用した温室効果ガスの排出量取引の取組が行われています（現在、全国716件のうち、北海道管内約75件の申請状況）。

一方で、北海道内の国内クレジットを活用・促進するために、以下のとおり課題やニーズ等があります。

- 1 クレジット量のボリュームから買い手先とのマッチングができないケースがある。
（国内クレジットにおける申請は、排出削減事業者（売り手）と共同実施者（買い手）の連名が条件となっています。）
- 2 自治体、農協、中小企業等（売り手）からは温室効果ガス削減等の取り組みのPR（見える化）を要望する声強い。
- 3 北海道内の優良な案件の集約化を図るとともに、カーボンオフセット等における需要の拡大を図ることが必要と認識。

北海道環境財団、経済産業省北海道経済産業局、北電総合設計株式会社等で仕組みの検討をおこない、上記課題等の解決のために、北海道発のクレジット推進機能として、「どさんCo2（こ）クレジット・ポート」（通称：どさんCo2（こ）・ポート）を設立（運営主体：財団法人北海道環境財団）することとしました。マッチングやPR等の機能拡充を行い、北海道の国内クレジット制度の牽引役を目指します。



「どさんこ・ポート」第一号クレジット案件、上富良野町「吹上温泉保養センター 白銀荘」

■財団法人北海道環境財団 概要

[代表者] 理事長 辻井達一（つじい・たついち）

[所在地] 札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤・加藤ビル4階

[概要] 市民・民間の環境保全活動を支援するため、北海道の出資により1997年に設立。1999年には、地球温暖化対策推進法に基づき「北海道地球温暖化防止活動推進センター」に指定、温暖化防止活動の支援や啓発・広報活動等に取り組み、情報提供、各種相談対応窓口機能を有する施設「北海道環境サポートセンター」を運営している。

[URL] <http://www.heco-spc.or.jp>

■本事業に関するお問い合わせ先

財団法人北海道環境財団（北海道環境サポートセンター） 担当：谷村（たにむら）

TEL：011-218-7881 FAX：011-218-7882 E-mail：tanimura@heco-spc.or.jp

どさんCo2(こ)・ポートの設立について

- 課題: ①買い手先とのマッチング
 ②中小企業等の取り組みのPR(見える化)
 ③優良な案件・小口案件の集約化を図るとともに需要の拡大

北海道内の国内クレジット
 活性化に必要な機能

マッチング機能を
 一本化・専門化

中小企業等(売り
 手側)の広報機能
 の充実

大口需要への対
 応

地域等における
 カーボン・オフ
 セット需要の創出

他地域との差別
 化と提携

上記を推進可能とするインフラ機能

どさんCo2(こ)・ ポートの設立・運営

創設目的: 北海道内の中小企業や自治体等の温暖化対策
 を後押しするため、国内クレジット案件の創出促進や流通促
 進を図り、国内クレジットを通じた低炭素社会の実現。

どさんCo2(こ)・ポートの仕組み

経済産業省北海道経済産業局:
 国内クレジット制度の推進

委託

マッチング連携

北電総合設計㈱

・売り手と買い手のマッチング
 ・案件発掘・計画策定支援等

再委託:
 HP運営

・案件発掘
 ・計画策定支援等

買い手

金融機関
 オフセットプロバイダー
 商社 等

クレジット
 (大口化)

資金

財団法人北海道環境財団
 (どさんCo2(こ)・ポート運営)

北海道発のクレジット推進機能
 ・小口の案件を大口化し、マッチング
 ・売り手のPR機能の強化(見える化)
 ・地域での需要の創出 等

<今後の取扱案件予定>
 ★上富良野町吹上温泉白銀荘ヒーポン
 ★士幌町バイオガスプラント
 ★芽室町内のペレットボイラー等
 ★JA士幌バイオガスボイラー
 ★厚沢部町おが粉ボイラー
 ★鶴雅グループ森の調温泉熱利用
 ★定山溪グランドホテル温泉熱利用
 ★ジャスマックプラザホテル省エネボイラー
 ★食品企業等の排熱回収事業……等々

クレジット

クレジット

クレジット

資金

資金

売り手

(排出削減事業者)
 自治体
 農林水産団体
 中小企業 等

→ :22年度委託事業にて実施している事業内容